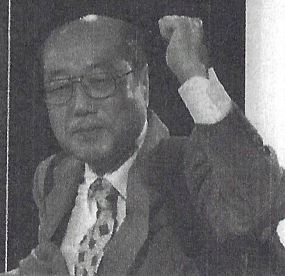


優待生活の「桐谷さん」も今がチャンスと動き出した!

「5万円株」で

大化け期待25銘柄



株価の先行き不透明な局面にもチャンスあり

投資を始めたかと思っても、トランプ米大統領が日本に25%の関税を課すといったニュースを目にすると、どうしても尻込みしてしまう。しかし、投資の達人たちに話を聞くと、今がチャンスであり、投資初心者でも始めやすい「5万円株で買える有望株」が多くあると口を揃えるのだ。

トランプ氏は8月1日以降、日本からの輸入品に25%の関税を課すと通

知。カブ知恵代表の藤井英敏氏はこう見る。「4月のトランプ関税の発表時は日経平均が暴落しましたが、今回の通知後はむしろ上がっている。すでに最悪シナリオは織り込み済みとも考えられますが、この先も波乱要因はあるので、私は8月1日、あるいはそれ以降

もしばらく日経平均の調整が続くと予想します」ただ、そうした調整局面は割安な株を探す好機でもあり、初心者も小さな金額で始められる銘柄を選ぶという手がある。注目は最低投資金額が5万円株までのいわゆる「5万円株」だという。藤井氏が続ける。

「日本株は原則100株単位の取引なので、株価が500円台より安いと5万円株となります。そうした銘柄は低位株とされ、市場の評価も低いものが多。しかし、なかには過小評価されて割安な銘柄があるので」別掲表は、投資の達人たちが選んだ最新の注目5万円株の一覧だ。

「選ぶうえで、安心感と株価上昇期待のために「高配当」予想配当利回り3.5%以上」で「割安

トランプショックにも負けない！
億り人たちが注目する
少額投資のいいところとは――

億り人ら厳選！5万円株で買える大化け期待銘柄25

企業名(市場・証券コード)	株価	注目ポイント
SBIレオスひふみ (東証グロース・165A)	200円	投資信託「ひふみ」シリーズなどを運用・販売し、業績を伸ばしている。PERは11倍台、自己資本比率61%以上。(藤井氏)
オリエンタル白石 (東証プライム・1786)	380円	コンクリート橋や鋼橋を手がける橋梁の総合建設。インフラの老朽化など進むなか国土強靱化関連として注目。(藤井氏)
塩水港精糖 (東証スタンダード・2112)	367円	パールエース印の精糖メーカー。乳果オリゴ糖を強化。配当利回りが4%以上と高い。(羽根氏)
第一屋製パン (東証スタンダード・2215)	526円	菓子パン老舗で「ポケモンパン」が人気。値上げによる収益向上に期待。筆頭株主は豊田通商。(坂本氏)
クシム (東証スタンダード・2345)	218円	ブロックチェーンサービス事業を軸に暗号資産関連事業やeスポーツ事業など手掛ける。将来的に大化けの可能性が。(岡山氏)
セキュアヴェイル (東証グロース・3042)	320円	ITセキュリティに特化し、ログ解析サービスなどで実績が高い。時価総額が小さく材料1つで急騰しやすい。(岡山氏)
じげん (東証プライム・3679)	455円	求人や不動産情報を一括検索できる集約サイトを展開。ここ3年で年平均23%成長しており期待度が高い。(なのの氏)
住友化学 (東証プライム・4005)	366.2円	総合化学大手で医薬品、農薬、電子材料などを手掛ける。前期(25年3月期)に黒字転換し、業績向上に伴う増配に期待。(坂本氏)
東邦アセチレン (東証プライム・4093)	352円	産業用ガスメーカー。ガス関連事業を中心に底堅い成長が見込まれる。株主優待還元策では累進配当施策を実施。(羽根氏)
セブテーニ・ホールディングス (東証スタンダード・4293)	430円	電通グループ傘下のネット広告大手。25年12月期第1四半期決算で売上高が過去最高、利益も2桁成長など好調が続く。(藤井氏)
ゼネテック (東証スタンダード・4492)	453円	半導体装置などハードとソフトの一体開発で特に車載用の開発などに強み。高配当ながら割安な銘柄で注目。(なのの氏)
東京機械製作所 (東証スタンダード・6335)	388円	国内大手の新聞印刷機メーカー。国内シフト事業が大半で関税の影響は軽微。PBR(株価純資産倍率)が割安。(岡山氏)
リバーエレテック (東証スタンダード・6666)	499円	水晶振動子などの製造・販売を手掛ける電子部品メーカーで独自の制御技術に定評。半導体関連銘柄としても注目。(岡山氏)

(PBR)株価収益率が20倍以下)かつ「安全性が高い(自己資本比率50%以上)」という3つの条件を重視する」といでしょう。そう語る藤井氏は注目銘柄について「市光工業や日本CMKなど自動車関連は関税の影響で割安に放置されている分、反発も期待できる」と説明。一方、マーケットバンク代表の岡山憲史氏は

「関税の影響を受けにくく、むしろプラスになり得る内需、半導体、ITインフラ関連などに注目5万円株がある」と見る。「なかでも国内やアジアで金融事業を拡大するJトラスト、ITセキュリティに特化するセキュアヴェイル、ブロックチェーン関連のクシムなどは大化けの可能性もあると見ています」と言う。

注目のベスト3は？

株式投資で億超えの資産を築いた「億り人」たちも、上値の重い展開をむしろ好機と捉える。「こんな時だからこそ不確実性の低い内需系銘柄を中心に少額から始めてほしい」と言うのは、資産1.5億円超の「Bコミ」こと坂本慎太郎氏(こころトレード研究所所長)だ。

上期待できます。米価の高騰で代替需要が高まるパン業界のなかでも割安な第一屋製パンも値上げによる収益拡大が期待できて要注目です」特定のイベントで発生する値動きの特徴から利益をあげる「イベント投資」を得意とする億り人の羽根英樹氏も、「内需」の5万円株に目を向ける。

「業績が安定的で増配も期待できる長期保有に適した銘柄がいいでしょう。一部地域で発売日

億り人ら厳選! 5万円台で買える大化け期待銘柄25

企業名(市場・証券コード)	株価	注目ポイント
日本CMK (東証プライム・6958)	339円	プリント配線基板のリーディングカンパニー。自動車向けが約8割で、関税が正式に決まれば一斉高という予想も。(藤井氏)
ジャパンクラフトホールディングス (東証スタンダード・7135)	215円	手芸店「トーカイ」を全国展開。コロナ禍を機に編み物ブームが続き今期は黒字転換の見通し。株主優待も拡充。(坂本氏)
市光工業 (東証プライム・7244)	375円	自動車用ランプの御三家の一角。自動車関連でも株価は激安水準。関税が正式決定した段階で一斉高も期待。(藤井氏)
VTホールディングス (東証プライム・7593)	465円	ホンダ・日産系ディーラー。M&Aを積極展開し多角化を推進。配当利回りは5%以上と高く、株主優待もある。(羽根氏)
大研医器 (東証スタンダード・7775)	440円	独創的な製品を創出する研究開発型医療機器メーカー。配当性向60%以上の利益還元を実施していく方針。(羽根氏)
日産東京販売ホールディングス (東証スタンダード・8291)	504円	日産系ディーラー最大手で配当利回りが4%以上の高配当ながらPERが7倍台と格安な「高配当バリュー株」。(なのの氏)
セブン銀行 (東証プライム・8410)	269.3円	セブンイレブンを中心にATMを展開。親会社のセブン&アイの非連結会社となる可能性がありTOB含みでも狙い目。(坂本氏、なのの氏)
Jトラスト (東証スタンダード・8508)	452円	証券、保証、債権回収、アジアでの銀行事業などで構成する金融グループ。アジア中心のため関税の影響は限定的。(岡山氏)
アコム (東証スタンダード・8572)	427.3円	三菱UFJフィナンシャル・グループ子会社の消費者金融大手。親子上場解消に伴うTOB含みでも狙い目。(なのの氏)
NTT (東証プライム・9432)	151円	NTTグループ持ち株会社。ドコモ主力。少額から買える上に配当利回りが3.5%前後でdポイントの株主優待も。(桐谷氏)
ソフトバンク (東証プライム・9434)	216.3円	配当利回りが4%近く、100株以上を1年以上保有すればPayPayポイント1000円分。少額投資としては配当と優待が有利。(桐谷氏)
ヤマダホールディングス (東証プライム・9831)	460円	家電量販店首位ヤマダデンキの持ち株会社。配当利回りが3.7%で株主優待を利回り換算すると合わせて7%ほどのインカムゲインが期待できる。(桐谷氏、なのの氏、羽根氏)

※企業名は証券コード順に並べた。株価は7月14日終値。単元株数はいずれも100株。

自動車ディーラー・VTホールディングスは配当利回り5%以上で業績も好調。医療機器メーカーの大研医器、精糖メーカーの塩水港精糖の配当利回りも4%以上と高い。資産2億円の兼業投資家・なのの氏は、自身の得意分野から注目銘柄を選んだ。

「私の基本的な投資スタイルである『高配当バリュー(割安・株投資)』に『TOB(株式公開買い付け)』による株価上昇も狙えるという観点を加えて選びました。伊藤忠商事の出資話が取り沙汰され、流通系銀行の再編が視野に入るセブン銀行。アクティビスト(物言う株主)の登場でTOB含みの展開も予想される日産東京販売ホールディングス。消費者金融大手のアコムも親子上場解消でTOBの可能性はある。どれも高配当です」

「株主優待の桐谷さん」として知られるプロ棋士

で投資家の桐谷広人氏は、「暴落は買いのチャンス」と公言し、4月のトランプ関税ショックでも53銘柄を購入。現在の局面でも「5万円株は安く買えて、分散投資もしやすいのが魅力的」とする桐谷氏が「注目のベスト3」を挙げた。

「2万円台で買えるソフトバンクは配当利回りが4%近く、1年以上保有すれば優待でPayPayポイントが1000円分。優待込みの総合利回りは8%以上。ヤマダホールディングスは配当利回り3.7%ほどでお買物優待券が1500円分もらえる。そしてNTTは1万5000円ほどで買えて配当利回りは3.5%前後。優待は2年以上の保有でdポイントが1500ポイントなど。3社合わせても8万円ちょっとで買えます」

先行き不透明の時期だからこそ、「5万円株」の魅力が増している。

シリーズ第11回
595
万部突破
韓国併合に反対だった
伊藤博文の絶望とは
井沢元彦
逆説の日本史
明治終焉編
文庫
定価916円税別
小学館文庫